

わが社の イチ押し!!

ドライバーのクセがわかるデジタコ、 セイフティレコーダ®「SR Connect」

株式会社協栄エレクトロニクス

特許や商標権など多くの知的財産を有する(株)データ・テック(東京)が開発したドライブレコーダ・デジタコ一体型の「セイフティレコーダ®シリーズ」は、事故の予防や省燃費運転などに有効として、大手運送会社などにも導入されている。(株)データ・テックと販売代理店契約を締結している(株)協栄エレクトロニクス(福岡市)は、九州地区で、「SR Connect」などのセイフティレコーダの普及に積極的に取り組んでいく考えだ。

900社の企業が導入

自動車の運行情報を記録するドライブレコーダは、運転操作を解析するツールとして、ドライバーの安全や教育を重視する企業などで導入が進んでいる。(株)データ・テックは、独自のジャイロセンサ技術(特許取得済み)を有し、事故の状況や速度超過などの情報だけではなく、日常の運転操作のクセ・挙動を分析し、ドライバーの事故予防や省燃費運転を支援するシステムとして、他社製品との差別化を図っている。これまでに大手運送業者など約900社、10万台の導入実績があるという。

日常の運転操作の指導も可能に

全日本トラック協会によると、交通事故は、速度帯別では約6割が時速30km以下、場所別では約5割が交差点で起こっている。このため、低速域や交差点などの右左折時におけるドライバーの運転操作の評価・指導が事故防止の対策としてきわめて重要になる。セイフティレコーダシリーズの「SR Connect」は、内蔵したジャイロセンサの振り子の原理を利用し、急ブレーキや速度超過時だけではなく、日常の運転操作までの全領域にわたって点数化。乗務終了時に自動的に印刷されるSR運転診断書は、速度に応じたブレーキ操作、停止する際の速度の落とし方、速度に応じた車線変更やカーブなどのハンドル操作、交差点での右左折、燃費改善に直結する運転のスムーズさの5項目を100点満点で評価するほか、改善のためのコメントも付く。

運行データからヒヤリハット判定ロジックを構築し、危険な運転をパターン化。乱暴な追い越し、頻繁な車線変更などのハンドル操作やドライバーのクセを自動的に解析し、発生場所の地図と走行軌跡を表示した指導書を自動的に印刷する。

こうしたさまざまな運転データを細かく分析したうえで、ドライバーの指導を行うことが本来の安全運転や燃費向上につながるとしている。

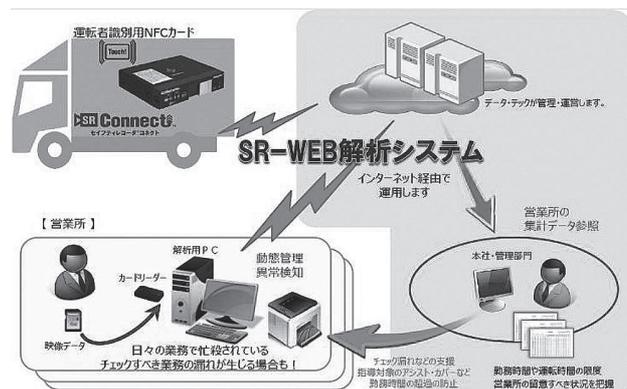
位置情報や運転結果はインターネット接続環境からいつでも確認することができ、車載カメラで撮影された動画は本体のSDカードに収録されている。

なお、フォークリフト専用のセイフティレコーダも開発されている。

「SRvideo」の無料貸し出しを実施中

「現在、セイフティレコーダ『SRvideo』の無料貸し出しを実施しています。また、デジタコの装着義務化に向けて、助成金・補助金制度のご相談も承っております。ご関心のある方は弊社までお問い合わせください。セイフティレコーダの普及促進の一環として、同製品の活用事例を交えた無料セミナーなどの開催も計画しています」と(株)協栄エレクトロニクスの吉村泰明代表取締役社長は話している。

*セイフティレコーダ®は、(株)データ・テックの登録商標



会社概要

| | |
|-------|----------------------------------|
| 商号 | 株式会社協栄エレクトロニクス |
| 企業コード | 800423528 |
| 所在地 | 福岡市中央区渡辺通1-1-1 サンセルコ商業・業務棟409 |
| 代表 | 吉村 泰明氏 |
| 電話 | 092-761-6657 |
| 設立 | 1990年2月 |
| 資本金 | 2000万円 |
| 事業内容 | 車載器、電子機器などの販売 |
| URL | http://www.kyoei-ele.com/ |